friendship force
AICHI

No.97

Newsletter

スイス：Solothurn club との関わり、そして渡航を終えて

ED　谷川　智恵子

2009 年春、FFI よりスイスに初めて出来たクラブの受け入れの打診を受けたのが、私とスイスとの関わりの始まりでした。Solothurn club は 2008 年に設立された新しいクラブです。

先方の ED は現在も会長の Kurt 氏、彼との 1 年間に及ぶ準備を終え 2010 年秋、5 家族 13 名の受け入れ交換が実現しました。その中の 4 名が 10 代とあって今までとは全く異なった受け入にも関わらず、快く受け入れて頂いたホストの方々や、プログラムに携わって頂いた愛知クラブの皆様には今でも感謝いたしております。昨年春には、今回の ED の Serafina と Charlotte が日本語の勉強の為に個人で愛知を訪れ、2 か月間程愛知クラブの数人の会員宅に滞在いたしました。その後 2012 年春に世界一若い ED Serafina との渡航に向けての準備が始まり、そして 2013 年 6 月、18 名の渡航が実現の運びとなりました。

若い会員が中心の受け入れクラブの特徴でしょうか、働きながらホストをする為に、主にデイホストが中心になって我々の滞在を支えてくれました。そんな忙しい中でも、ホストの方々が時間を工面し、少しでも楽しんでもらいたい思う日本と同じおもてなしの心が、私には強く伝わって来ました。今回は一週間だけの短い渡航のため、少しでも多くの方が参加しやすく、そして楽しんで頂きたいとの思いで、渡航の規定を少し変え、行き帰り共に個人で日程を決める方法をとりました。正直 ED としては大きな心配もありました。幸いにもチューリッヒ空港で全員が時間通りに集まる事が出来た時は心からほっとしました。空港へ出迎えに来た ED の Serafina, Charlotte と電車で 1 時間 30 分かかって Solothurn へ移動し、駅で温かいホストの歓迎を受けました。

振り返ればあっという間の短い滞在でしたが、FF の活動である“人と人との関わりの大切さ”や“スイスとの関わり”を、さらに強く感じた忘れられない交換になりました。
皆様とご一緒出来ました事を今一度感謝いたします。

A message from the Exchange Directors　　Serafina and Charlotte

On June 13th the Friendship Force Club Solothurn had the pleasure to welcome the Friendship Force Club Aichi.

Everyone was pretty excited, because the two Clubs had met almost 3 years ago and so friends from then could meet again.　Especially for Serafina and Chrlotte this exchange was special. First we were the Exchange directors and had a lot of responsibility. Second we wanted to be the Exchange directors to say <arigatô^> to the Friendship Force Club of Aichi.

スイス渡航交換の報告

スイスでのホームステイ　岡田　信春

これまでに過去５回ほど渡欧していますが、スイスは初めての訪問になりました。　いつもはホテルに泊まり寂しく過ごしてきましたが、女房のおかげで FF 愛知の皆様と出会い、ホームステイをし、先方で楽しく人との出会いの大切さを学ばせて戴いています。

今回の想い出はひとつにスイスの自然の雄大さ、もうひとつは歩く事の大切さを学びました。フリーデイの日、ゆっくり出来るのかと思っていましたが、ホストのマギーさんが言うにはその日は列車とバスを乗り継いで Open-Air Museum Ballenberg にピクニックに行くと言われ、内心歩く事が少ないかと思っていましたが、当時は広大な敷地の中に昔の生活をそのまま残した生きた施設等を見学、散策する事となりました。入園する前には白木、橋本夫妻とそのホストの方々と一緒になり我々だけでは無いことに安心しましたが、歩く事には変わりはありませんでした。でもその素晴らしさは口では言い表せませんので写真で紹介したいと思います。帰りのバスで Brienz の駅まで来ましたが事故の為に列車で Interlaken に行けず、湖を船にて向かう事になりました。　その時の写真です。

40 代の女性　はじめての FF ホームステイ　鈴木　三千江

私は新年の占いも大好きで今年は９年に１度の強運の年で海外に行き現地の人たちと触れ合えば後の人生にプラスとなると知ればスイス渡航は願ってもないチャンス。夫の承諾を聞く前に話を進めトントン拍子に行くことが決まり晴れて出発 。不安は行ける喜びと感謝で打ち消し、もし嫌なことがあっても鍛錬と思って臨んだ。スイスは３度目だが知らない魅力に溢れ、何よりも現地の人の見ず知らずの人をもてなす美しい心・文化そして FF の先輩方の高齢をものともせず活発行動するかっこよさに感動し私もいつかそんな風になれたらと思えただけでもこの渡航は本当に私の後の人生にプラスの影響を与えて頂き喜びと感謝でいっぱいです。

美味しいスイスの食卓　蟹江　直子

食いしん坊の私は、FF の旅でホームステイすることによってその国の日常の食生活を体験することができ毎回とても楽しみにしています。

スイスの代表的な料理である**「フォンデュ」**はもちろんのこと、茹でたジャガイモに直火で溶かしたチーズをからめて食べる**「ラクレット」**はフェアウエルパーティーで食べることができました。燕麦にドライフルーツとナッツの入ったここスイスが発祥地といわれる**「ベルヒャーミューズリー」**は、ルーバーブ入りの濃厚なヨーグルトと共に毎朝食べました。そして、休日に食べるという三つ編み型の白い生地のパン**「ツォップ」**はまさに日曜日の朝ホストのお庭でゆっくり楽しむことができました。パンと言えば、スイスではこのツォップ以外はほとんど全粒粉かライ麦入りのいかにも体によさそうな黒いパンがほとんどで、いずれももっちり、ずっしりとしてとても美味しかったです。そして、一番感動したのは、ホストのバースデーパーティーで食べたホームメードの**「シュバルツバルターキッシュトルテ」**です。地元スイスでとれた大粒のチェリーの入ったチョコレート味のケーキです。私は以前からドイツかスイスに行ったらこのケーキを食べてみたいと思っていたのでとても嬉しかったです。甘さ控えめの私の想像したとおりの絶品のケーキでした。あまりの美味しさに 3 つも食べてしまいました。美味しいものを食べ、美しい景色を見ながらよく歩き、健康的でとても楽しい一週間を過ごすことができました。

クラブ内イベント報告

FF 愛知の親睦会が 8 月 11 日、東谷山でのフルーツパーティー、9 月 7 日、郡上へのバス旅行が行われた。東谷山では猛暑の中にも拘らず日曜日とあって平日は仕事に忙しい会員の参加があり、初めて顔を合わせた会員同士が友達になった。郡上バス旅行は 1 台のバスに乗り合わせるだけで打ち解けた良い親睦の場になりイベントは回を重ねるごとに参加者の顔ぶれも異なり、友達の輪が広がってきたのが実感出来た。

8 月 11 日　東谷山　フルーツパーティー　　熊谷　洋子　　参加者 19 名

ここ連日猛暑の中、この日の名古屋の気温は 37°東谷山フルーツパークに到着して間もなく梅ジュースのおもてなしがふるまわれ、暑い夏だからこそ　のどが潤い、おいしかったです。そして全員が揃ったところで世界の熱帯果樹温室へ。分かりやすい説明で案内して頂き、一つ一つの果物に興味が一段と膨らみました。ただこの中は**サウナのように蒸し暑く感じられた。**

その後、パーティー会場に戻り、出されたデコレーションフルーツは眼で楽しみ、みずみずしくとても美味しかったです。結構思ったよりお腹もいっぱいになり大満足でした。私だけが食べて申し訳ないと子供たちもつれてきて一緒に食べたかったかなと頭を過った。自己紹介やスイスの家庭での滞在報告を聞かせて頂き、あっという間の楽しいひと時でした。

9 月 7 日　郡上バス旅行　　大矢　道子　　参加者 17 名

郡上方面へはたびたび出かけますが高速道路が出来ましたので立ち寄る機会がなくいつも通過していました。今回初めて訪ねるので楽しみにしてました。郡上の徹夜おどりは聞きますが他は何の知識もなく今回訪ねた八幡城、町の散策、慈恩護国禅寺の庭園、食品サンプル作り、とてもよかったです。名古屋から高速で 1 時間半足らずで来ることができ、また機会を見つけ来たいと思います。食品サンプルは外国からの旅行者がお土産で買われると聞きました。それを自分で作れるなら楽しいと思います。ホストをする機会がありましたらお連れしたいと思います。いつも忙しくしてますので、のんびりできとても良い日帰り旅行でした。

新しい FFI PC 金元　勅子さん

この度、FFI のスタッフとして採用になりました、金元勅子と申します。現在 7 歳の子供と主人と 3 人で東京の三鷹市で暮らしており、週末は、近くの公園を家族で散歩したり、楽しく過ごしています。

4 月から日本事務局にて働き始め、5 月上旬に 1 週間 FFI 本部アトランタにて研修をしてきました。宿泊先は、以前 FFI で広報を担当されていた Rebecca Shaw さんのご自宅でした。夕飯をご一緒した時に、お互いに家族の写真を見せたりしながら、楽しいひと時を過ごしました。研修は、朝 8 時半から 16 時頃まで、集中して行われ、皆さん短時間で要領よく教えてくださり、また私もそれに応えようと、集中して勉強してきました。日本に戻ってからは、スタッフとはメールのやり取りだけですが、いい仕事仲間に恵まれたと思っています。

6 月には、Maryam さんから今年度の 9 月以降の交換と、来年度交換を引き継ぎ、石井さんから、フィールドレップコーディネーターのお仕事を今年度中に引き継ぐ予定となっております。日本のクラブの皆様にも色々と教えていただきながら、前進していきたいと思います。では、今後ブロックミーティング、日本大会でお会いできるのを楽しみにしております。どうぞよろしくお願いいたします。

お 知 ら せ と 報 告

サンシャインコースト受入ご案内　　ED　加藤　紀子

会員全員で交換を楽しみましょう

期日	スケジュール
10 月 2 日（水）	出迎え　9:45 集合名古屋国際ホテル　Tel. 052-961-3111 能楽堂見学　10:00～10:45 ウェルカムランチ　於：あいち国際プラザ 11:00~ （集合 10:50） 担当：佐藤美知子　橋本雅子 名古屋城見学　13:00~担当：鈴木サヨ
10 月 3 日（木）	フリーデイ
10 月 4 日（金）	キリンビール工場、トヨタテクノ見学 集合場所　時間：キリンビール 10:45 解散場所　時間：トヨタテクノ 15:45 担当：　橋本忠幸　キリン英語ガイド：　長坂　勉
10 月 5 日（土）	名古屋市内観光 集合場所 時間：　JR 金山駅改札口、　9：30 担当：白木裕巳　冨岡達也　長野よしみ　浦本芙美子
10 月 6 日（日）	フリーデイ
10 月 7 日（月）	京都バス旅行 集合場所と時間：7：45　JR 名古屋駅銀の時計 担当：稲葉千賀子 加藤紀子
10 月 8 日（火）	フェアウェルパーティー　於:　ウェスティン名古屋キャッスル 11:00 受付　11:30~13:30 パーティー 担当：沢野井シゲ子　司会：加藤八郎
10 月 9 日（水）	郡山に出発　9：40　名古屋駅銀の時計に集合

2014 年の渡航　ニューカレドニア・オーストラリア　ご案内と参加者募集

ED 堀　夏江　　AED 青山暢子

期　　日：3 月 19 日～4 月 5 日
渡 航 先：Central Coast , Australia　Noumea, New Caledonia
渡航費用：航空運賃　約 25 万円＋ホテル宿泊代(1 泊)＋交換費用
参加人数：15 人
募集締切：**10 月 15 日募集受付開始**　定員になり次第終了します
申 込 先：堀　夏江　nacchanh@aol.com　Tel. 0561-82-1958
＊今回の旅行は参加者一緒に出発します。参加ご希望は原則として 2 クラブとも参加の方
　現在参加人数 15 名で旅行会社、数社と交渉中です

編集・発行　FF 愛知　会　長：加藤紀子　puppy-nk@cac-net.ne.jp
事務局：西村貴美子　kk-nishi@ma.medis.ne.jp
〒478-0001
愛知県知多市八幡字笹廻間 12-199　Tel. & Fax 0562-34-0890
ニューズレター編集・製作：鷹野晴子　htkn@ma.medias.ne.jp
ホームページ　http://ffaichi.web.fc2.com/